

ソプラノの皆様

土曜日はお疲れ様でした。

今日から毎週全曲を歌っていくことになります。

どの曲もまとまってきたように感じました。

演奏会まで頑張っていきましょう！

●3月16日（土）14時00分～16時40分

●芦原小学校 2階多目的ホール

●参加人数 S/11、A/15、T/3、B/4

○アルデバラン

・リハーサル番号Jの66小節からはffで、68小節の3拍目の伸ばし終わるところまできっちりせめます。69小節はかならずmpに一旦落とし71小節のffで解放されるかのように、そこに向かってクレッシェンドしていきます。

○母の手

・出だし 言葉を伝えるように淡々とですが、

「あわい」ふわっとしすぎないで、二分音符等で飛ばしている音も減少させずに中身の肉をつけて

・13小節からは一步前に音楽を流れ出せて

・リハーサル番号2 女声 男声の旋律のレガートに対比して、女声はレガートではなく一つずつ音を積み上げるように

・46小節から50小節に向かって accelerando 気持ちの盛り上がりと共にだんだんテンポをつめていきます

○等圧線

・出だしのア・カペラ、「あおくなんかなかった」はしっかりとどまり、「まぶしすぎるだけ」は流れを乗せていく。後半も同様「大きくなんかなかった」（とどまる）「とほうもないだけ」（流れを大切に）

・16小節の間はまだしっかりffを保って

・リハーサル番号Cからは3拍子のリズムの揺らぎに乗って

○Ave Maria

・出だし テンポ感を自分で持って

・4小節目 gjatia のti 「ツイ」です！「チ」と絶対発音しない。（他も同様）

今週はできませんでしたが、それぞれ場面場面の表現がきっちりできるように今後していきたいと思います。

○Ave verum corpus

・25小節～ 丁寧に響きを落とさないで、32小節のクレッシェンド大事に

・34小節のbisの後全パート揃えてブレス

・39小節のdimは、全てのパート一小節後ろにずらします

・そのため、37小節からのfをその後しっかり保つために、その前36小節の最後のtumは少し短くなってもいいので、しっかりブレスを取りましょう

○モーツァルト ミサ 全曲

Kyrie

- ・16分音符の動きしっかりお腹で支えましょう
- ・アクセントスタッカート 短すぎず響かせて

Gloria

Credo

Sanctus

- ・出だし リズムをしっかりイメージして入る 伴奏のビート感をしっかり感じて乗っていきましょう

Benedictus

Agnus dei

- ・qui tollis の qui クイと二つに分けてゆっくり発音せず、文字で書くならクイーに近く、二重母音が重くならないように
- ・36~39 (レガートに)、40~46 (花火を打ち上げるように一つ一つしっかりお腹を使ってリズムカルに)、47~50 (レガートに)、50~54 (40~と同様)、それぞれの違いをしっかり歌いわけて
- ・50小節からはラスト、オケに負けず、しっかり歌い切る、62小節からのpは、最後なのであまり弱くしないで、ラストしっかり歌い切る

○あなたのことを

○はじまり

○雨

- ・ソプラノ 出だしからしっかりお腹で支えて正しいところに音を当てて響かせて。響きが落ちて暗くならないように。

○花

○温かいシチュー

○ちゅ〜るしよ！

-----

全部通して歌うと、それなりに疲れるなあと感じました…。

本番までに慣れていく必要がありますね。

それではまた土曜日、よろしくお願いいたします！

稲垣朋子